



# 豊玉二中だより

令和3年度 第13号  
発行日 3月23日(水)  
練馬区立豊玉第二中学校  
校長 神山 信次郎

## 卒業式式辞

皆さんを送り出すのを惜しむがごとく、春の雨が木々の若芽を柔らかく濡らしています。もうすぐ本格的な春を迎えるこの良き日、練馬区立豊玉第二中学校、第60回卒業式を迎えることができました。大変うれしく思います。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

私はただ今、75名の卒業生の皆さんに卒業証書をお渡しいたしました。一人ひとりのまなざしの中に、3年間頑張ってきた誇りと新しい生活への決意を感じとることができました。皆さんの成長を本当にうれしく思います。思い返せば、皆さんの中学校3年間はたくさんの制限の中での生活でした。本当に残念でした。数々の行事の縮小・延長・中止や部活動の活動制限・中止、マスクが手放せなくなった毎日…。それでも、皆さんは豊玉二中生として一日一日を大切に、今できる最善の方法を考え、前を向き努力してきました。そして、心をついに一つにして、ここまで頑張り、立派に全員で「卒業の日」を迎えました。

～ 『中略』 ～

そこで、次の3つの言葉を使ってしっかり自分自身を振り返ってみてください。

第一は「感謝」です。自分は周りの人に支えられて、ここまで成長してきたことに気付いているでしょうか。

第二は「夢」です。夢や目標を持ち続けましたか。そして、とことん努力しましたか。

第三は「気概」です。困難にくじけない強い意志、失敗してもくじけずあきらめない気持ちで頑張れましたか。それぞれの答えが今の自分です。その答えをこれからの人生を「いしずえ」にして、ここからスタートしてほしいと思います。「感謝」すること、「夢」をもつこと、「気概」をもつことの心構えは、これから皆さんが踏み出す未来においても忘れずに持ち続け、自分自身を律してください。そこで、皆さんに心構えをはなむけの言葉として贈りたいと思います。

卒業生の皆さんへエールを送ります。「努力の人になってください」「がんばってください」「負けないでください」「あきらめないでください」

結びになりますが、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。本日の晴れ姿には感慨ひとしおかと存じます。4月からはお子様方はそれぞれ選んだ道を進みます。その中で、当然一人の人間としての判断力や行動力、時には責任が問われます。このような一般社会の要求に応えられる青年に成長できますよう皆様方の今後のご指導をお願いいたします。

最後に卒業の皆さん、私は皆さんが練馬区立豊玉第二中学校の卒業生であることを誇りとし、これからの世界を心豊かにたくましく生き、活力のあるものにするために全力を尽くされることを期待し、式辞といたします。